



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月14日

上場会社名 株式会社シンシア
 コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,065	2.0	58		66		41	
2018年12月期第2四半期	2,024	3.7	78		98		72	

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 17百万円 (%) 2018年12月期第2四半期 76百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	6.63	6.55
2018年12月期第2四半期	10.50	

(注) 2018年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,769	1,833	66.2
2018年12月期	2,656	1,828	68.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 1,833百万円 2018年12月期 1,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		2.00	2.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,537	8.5	65	404.6	60	128.4	41	162.4	6.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	6,862,200 株	2018年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	654,140 株	2018年12月期	654,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	6,208,077 株	2018年12月期2Q	6,856,729 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で持ち直しの動きが続くなど緩やかな回復基調で推移した一方、地政学的リスクの拡大や、米中貿易摩擦など海外の政治・経済動向の不確実性、金融資本市場の変動による影響など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

コンタクトレンズ業界におきましては、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや、カラーコンタクトレンズ市場の拡大もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測され、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進活動が激化しており、今後も継続するものと思われまます。

このような状況の中での当社グループの状況は、眼科併設店及びコンタクトレンズ量販店チャンネル向けに、新素材シリコーンハイドロゲルを使用したクリアコンタクトレンズ「SINCERE 1DAY SJ」（2019年2月22日発売）を投入いたしました。同商品が好評を博しており、売上高に貢献いたしました。

また、「1day EYE WELL」等の導入に伴う返品が一巡したことや高付加価値商品の投入等により、売上総利益率が31.0%と前年同四半期と比較して4.0%向上いたしました。

販売費及び一般管理費に関しては、「SINCERE 1DAY SJ」の対象チャンネルが眼科併設店及びコンタクトレンズ量販店であることから、医師が患者に対して適切にコンタクトレンズを処方するために必要となるトライアルレンズに関する費用負担が増大しており（販売促進費118,907千円（前年同四半期比22.0%増））、依然として高い水準ではありますが、広告宣伝費の低下（広告宣伝費53,603千円（前年同四半期比57.3%減））等を要因として、前年同四半期と比較して減少（販売費及び一般管理費581,248千円（前年同四半期比7.1%減））しております。トライアルレンズに関する費用負担については、発売後一定期間において集中的に発生する先行費用と認識しており、商品が市場に浸透していくにつれ、低減していくものと考えております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,065,124千円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益58,039千円（前年同四半期は営業損失78,219千円）、経常利益66,445千円（前年同四半期は経常損失98,642千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益41,130千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失72,010千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,657,528千円となり、前連結会計年度末に比べ101,881千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が195,312千円減少したものの、商品が200,789千円、外国為替差入証拠金が118,099千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は112,334千円となり、前連結会計年度末に比べ11,685千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が14,054千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,769,862千円となり、前連結会計年度末に比べ113,567千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は707,306千円となり、前連結会計年度末に比べ120,286千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が104,586千円、1年内返済予定の長期借入金が60,000千円それぞれ増加したものの、短期借入金が300,000千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は228,800千円となり、前連結会計年度末に比べ228,800千円増加いたしました。これは主に長期借入金が225,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は936,107千円となり、前連結会計年度末に比べ108,514千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,833,755千円となり、前連結会計年度末に比べ5,052千円増加いたしました。これは主に繰延ヘッジ損益が23,110千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が28,714千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度末は68.8%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ195,312千円減少し、797,458千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、仕入債務の増加額106,901千円、税金等調整前四半期純利益66,445千円等の増加要因に対し、棚卸資産の増加額249,091千円等の減少要因により、36,679千円の減少(前年同四半期は221,190千円の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、外国為替差入証拠金の純増額118,099千円等の減少要因により、126,533千円の減少(前年同四半期は132,995千円の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入による収入300,000千円の増加要因に対し、短期借入金の純減額300,000千円、長期借入金の返済による支出15,000千円等の減少要因により、27,320千円の減少(前年同四半期は151,548千円の減少)となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年2月14日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	992,771	797,458
受取手形及び売掛金	622,553	577,974
商品	607,246	808,036
貯蔵品	96,077	141,553
前渡金	13,029	11,298
未収還付法人税等	46,879	1
デリバティブ債権	46,471	11,062
外国為替差入証拠金	126,944	245,043
その他	46,939	107,327
貸倒引当金	△43,267	△42,227
流動資産合計	2,555,646	2,657,528
固定資産		
有形固定資産	16,316	16,251
無形固定資産	14,601	12,123
投資その他の資産		
繰延税金資産	10,302	24,357
その他	59,428	59,602
投資その他の資産合計	69,730	83,959
固定資産合計	100,648	112,334
資産合計	2,656,295	2,769,862

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,485	252,072
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	—	60,000
未払法人税等	625	24,768
デリバティブ債務	17,340	7,674
賞与引当金	6,640	9,417
株主優待引当金	—	5,750
その他	155,500	147,622
流動負債合計	827,592	707,306
固定負債		
長期借入金	—	225,000
デリバティブ債務	—	3,800
固定負債合計	—	228,800
負債合計	827,592	936,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	353,422	353,422
利益剰余金	1,583,710	1,612,425
自己株式	△411,636	△411,662
株主資本合計	1,798,918	1,827,608
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	26,858	3,748
為替換算調整勘定	2,297	1,770
その他の包括利益累計額合計	29,156	5,519
新株予約権	628	628
純資産合計	1,828,702	1,833,755
負債純資産合計	2,656,295	2,769,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,024,277	2,065,124
売上原価	1,477,075	1,425,836
売上総利益	547,202	639,288
販売費及び一般管理費	625,421	581,248
営業利益又は営業損失(△)	△78,219	58,039
営業外収益		
受取利息	618	399
デリバティブ評価益	14,376	3,765
為替差益	—	2,919
受取補償金	—	4,288
その他	843	1,315
営業外収益合計	15,838	12,689
営業外費用		
支払利息	4,842	3,691
貸倒引当金繰入額	3,760	—
為替差損	27,084	—
その他	574	592
営業外費用合計	36,262	4,283
経常利益又は経常損失(△)	△98,642	66,445
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,642	66,445
法人税、住民税及び事業税	2,691	29,170
法人税等調整額	△29,323	△3,855
法人税等合計	△26,631	25,314
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,010	41,130
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,010	41,130

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,010	41,130
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△2,908	△23,110
為替換算調整勘定	△2,042	△526
その他の包括利益合計	△4,950	△23,636
四半期包括利益	△76,961	17,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,961	17,494
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,642	66,445
減価償却費	3,907	3,831
のれん償却額	615	615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,318	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,123	2,786
受取利息及び受取配当金	△618	△399
支払利息	4,842	3,691
為替差損益(△は益)	34,068	8,787
デリバティブ評価損益(△は益)	△14,376	△3,765
売上債権の増減額(△は増加)	48,201	42,507
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,447	△249,091
前渡金の増減額(△は増加)	△6,977	1,731
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,401	106,901
前受金の増減額(△は減少)	△40,631	14,142
その他の資産の増減額(△は増加)	△55,380	△60,599
その他の負債の増減額(△は減少)	△16,625	△13,012
その他	84	84
小計	△132,042	△75,352
利息及び配当金の受取額	504	226
利息の支払額	△4,826	△3,418
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△84,825	41,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	△221,190	△36,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21,821	—
有形固定資産の取得による支出	△3,489	△2,181
無形固定資産の取得による支出	△657	△2,689
デリバティブ取引による支出	△33,148	△8,220
デリバティブ取引による収入	5,175	5,197
関係会社貸付けによる支出	△4,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△115	△1,786
差入保証金の回収による収入	68,000	1,255
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	123,051	△118,099
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	132,995	△126,533
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△300,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△10,002	△15,000
自己株式の取得による支出	△41,042	△25
配当金の支払額	△81,856	△12,295
上場関連費用の支出	△18,559	—
その他	△88	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,548	△27,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,687	△4,779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△244,431	△195,312
現金及び現金同等物の期首残高	907,550	992,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	663,118	797,458

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。